

2024年10月期 第1四半期 IRミーティング資料

2024/4/2

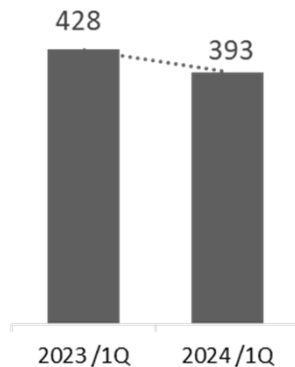
2024年10月期 第1四半期実績

(単位：億円)

	2023 /1Q 実績	2024 /1Q 実績	前年比	増減率
売上高	428	393	▲35	▲8%
売上総利益	110	84	▲27	▲24%
営業利益	58	29	▲29	▲49%
経常利益	40	36	▲5	▲12%
親会社株主に帰属する四半期純利益	34	25	▲10	▲28%

参考：平均レート ¥/ドル=137 ¥/ドル=147

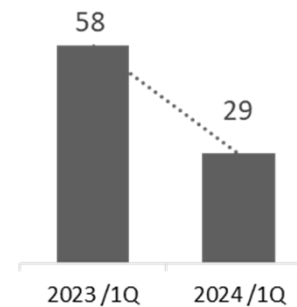
売上高



前年比 ▲35 億円

- (-) アクシーブの減収
- (-) 国内農薬の減収
(前年同期は値上げ前の前傾受注あり)
- (+) 円安による押し上げ

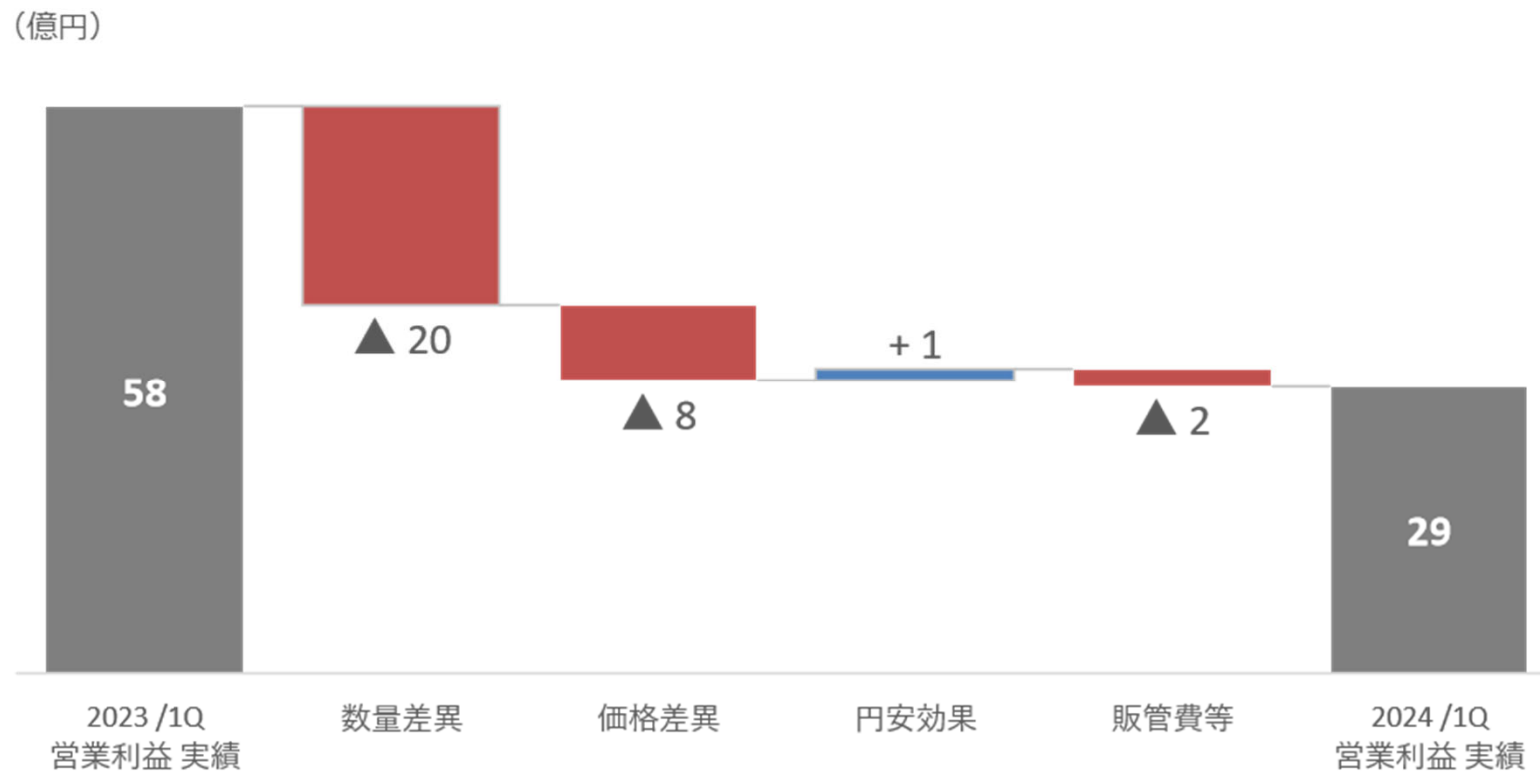
営業利益



前年比 ▲29 億円

- (-) アクシーブの減収
- (-) 原価コストの増加
- (-) 販管費の増加
- (+) 円安による押し上げ

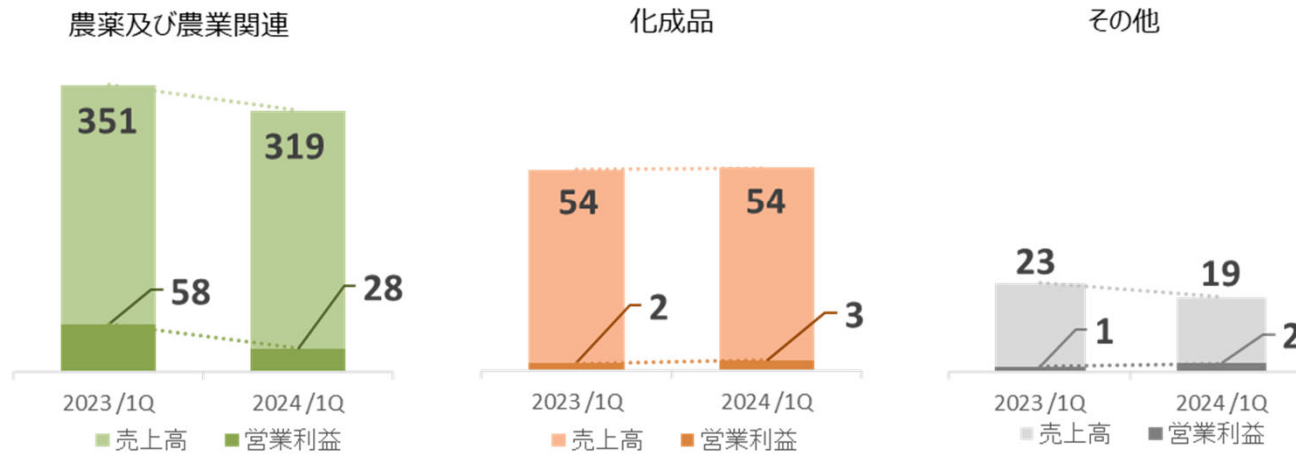
営業減益の要因



2024年10月期 第1四半期実績 (セグメント別)

(単位：億円)

	2023 /1Q 実績	2024 /1Q 実績	前年比	増減率
売上高	428	393	▲35	▲8%
農薬及び農業関連	351	319	▲31	▲9%
化成品	54	54	+1	+1%
その他	23	19	▲4	▲16%
営業利益	58	29	▲29	▲49%
農薬及び農業関連	58	28	▲30	▲51%
化成品	2	3	+1	+46%
その他	1	2	+1	+67%
(調整額)	▲3	▲4	▲0	-



農薬及び農業関連事業

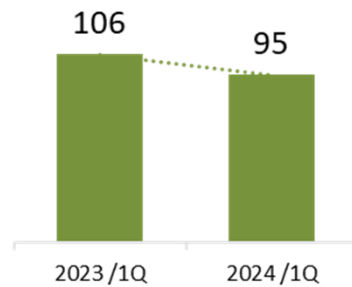
国内

- ・ エフィーダを含む水稲用除草剤が順調に推移
- ・ 前年同期には値上げ前の前傾受注あり

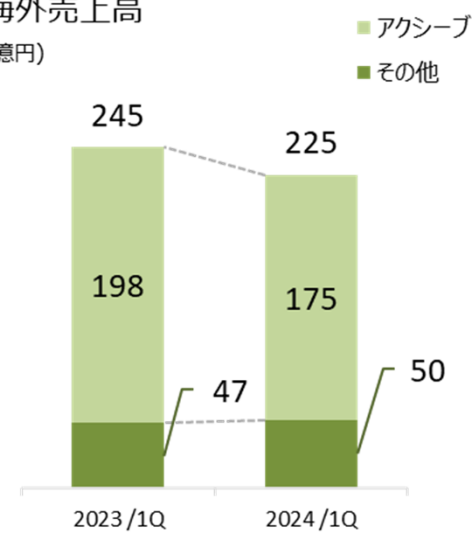
海外

- ・ オーストラリア向けアクシーブの値下げと在庫調整による売上減
- ・ アルゼンチン向けアクシーブの出荷時期の期ずれによる売上減

国内売上高
(億円)



海外売上高
(億円)



化成品事業

塩素化

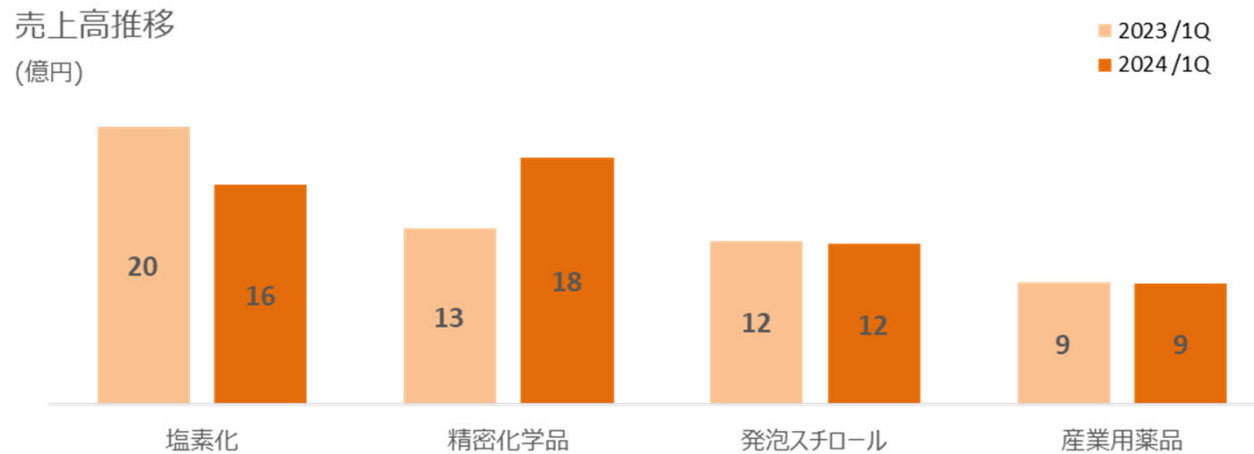
- ・販売先の在庫調整等の影響によりクロロキシレン系およびクロロトルエン系化学品の出荷が減少

精密化学品

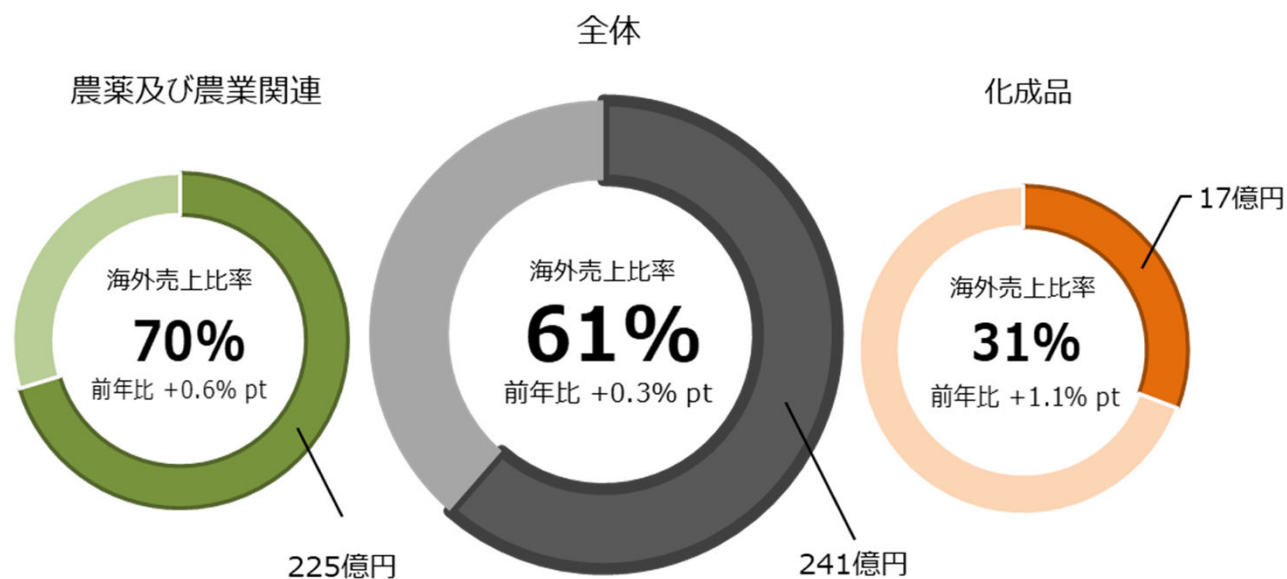
- ・半導体需要の回復により、ビスマレイミド類の出荷が大きく増加

発泡スチロール・産業用薬品

- ・前年並みで推移



2024年10月期 第1四半期実績（海外売上高・比率）



2024年10月期 第1四半期 総括

事業全体

売上高	393 億円 (前年比 ▲35億円)	・ アクシーブの減収
営業利益	29 億円 (前年比 ▲29億円)	・ 原価コストや販管費の増加による利益の押し下げ
経常利益	36 億円 (前年比 ▲5億円)	・ 前年度よりも円安で推移し収益を押し上げ ・ 前年同期比で為替差損が大幅減も、持分法投資利益減

農薬及び農業関連事業

売上高	319 億円 (前年比 ▲31億円)	・ オーストラリア向けアクシーブの値下げや在庫調整の影響等による減収
営業利益	28 億円 (前年比 ▲30億円)	・ アルゼンチン向けアクシーブの出荷時期の期ずれによる減収

化成品事業

売上高	54 億円 (前年比 +1億円)	・ 半導体需要の回復により、ビスマレイミド類の出荷が大きく増加
営業利益	3 億円 (前年比 +1億円)	・ 販売先の在庫調整等の影響によりクロロキシレン系およびクロロトルエン系化学品の出荷が減少

その他事業

売上高	19 億円 (前年比 ▲4億円)	・ 物流事業、印刷事業が堅調に推移
営業利益	2 億円 (前年比 +1億円)	・ 建設業の繰越工事高が前年同期に比べ減少 ・ 原価低減による増益

2024年10月期 通期業績予想

(単位：億円)

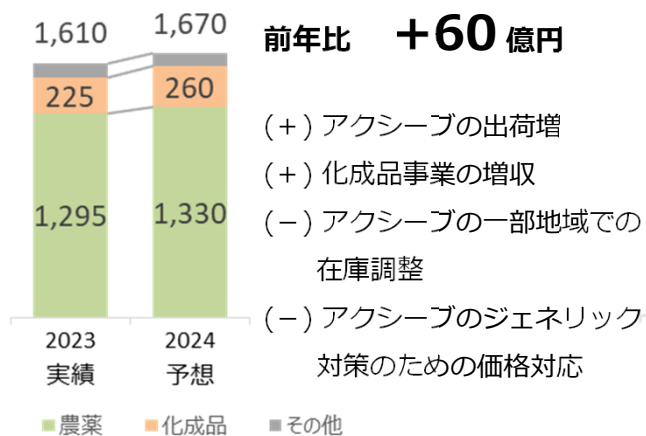
	2023 実績	2024 予想	前年比	増減率
売上高	1,610	1,670	+60	+4%
農薬及び農業関連	1,295	1,330	+35	+3%
化成品	225	260	+35	+16%
その他	91	80	▲11	▲12%
営業利益	141	120	▲21	▲15%
経常利益	241	150	▲91	▲38%
親会社株主に帰属する当期純利益	180	110	▲70	▲39%

参考：平均レート

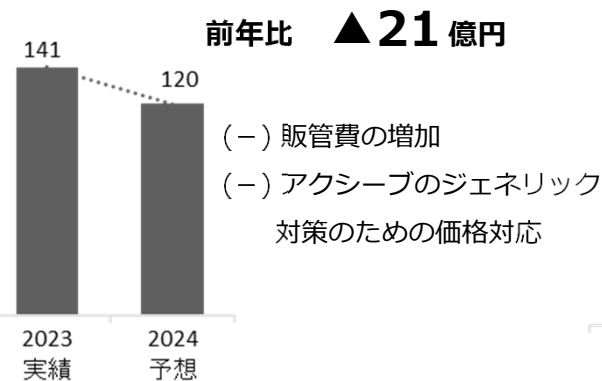
¥/ドル=140

¥/ドル=140

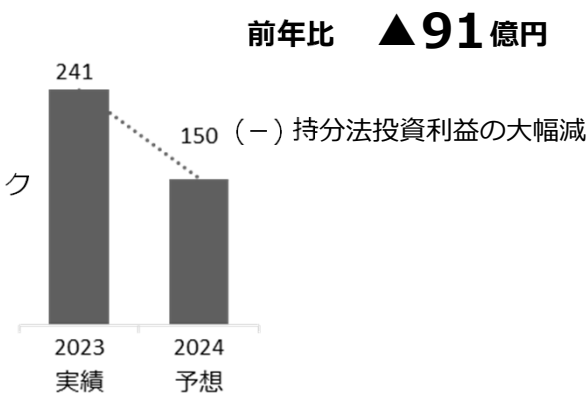
通期売上高



通期営業利益



通期経常利益



研究開発費・設備投資・減価償却費

研究開発費

2023年度実績 **62**億円 → 2024年度計画 **72**億円
(主な内容) 海外開発への取り組み強化、最先端技術の活用による研究推進

設備投資

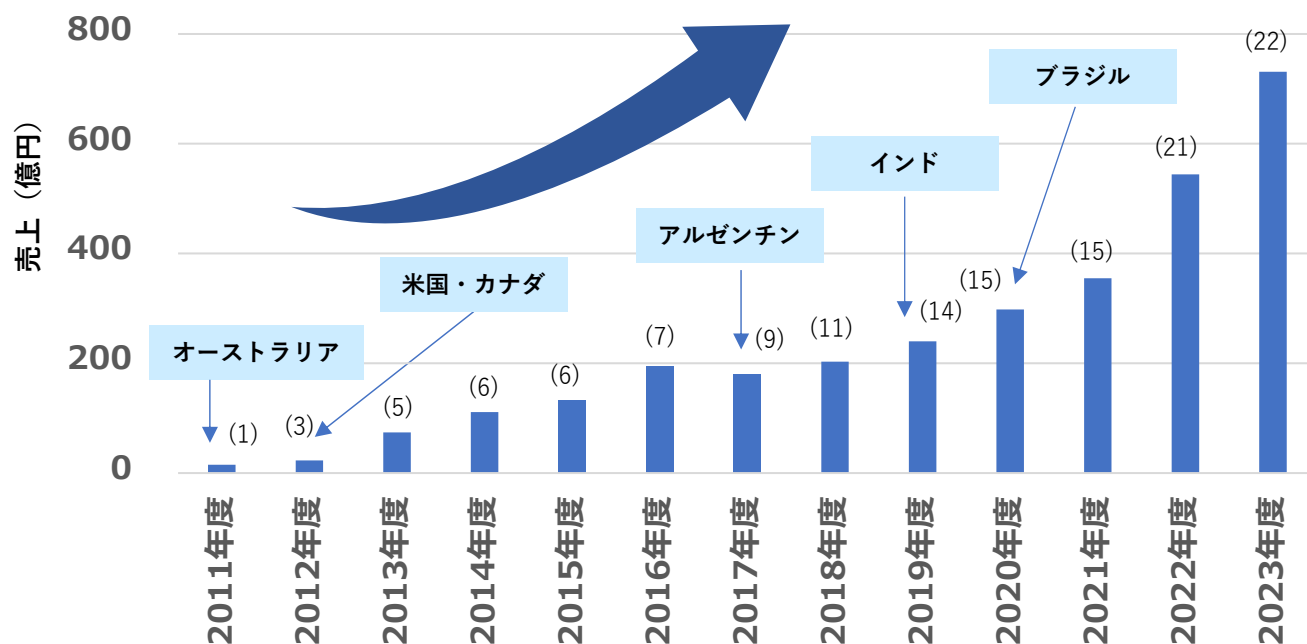
2023年度実績 **87**億円 → 2024年度計画 **102**億円
(主な内容) 老朽化した生産設備の更新、化成品関連のプラント・設備の新設

減価償却費

2023年度実績 **44**億円 → 2024年度計画 **51**億円
(主な内容) 新化学研究所 (ShIP) や生産設備への設備投資に伴う減価償却費の増加

アクシーブの成長

- ◆ 抵抗性雑草の特効薬として販売拡大
- ◆ 穀物主要生産国での販売拡大（ダイズ、トウモロコシ、コムギ）
- ◆ パートナー企業が有する有効成分との混合剤開発



()内は登録国数



抵抗性雑草等が繁茂する
トウモロコシ畑



AXEEVを処理した
トウモロコシ畑

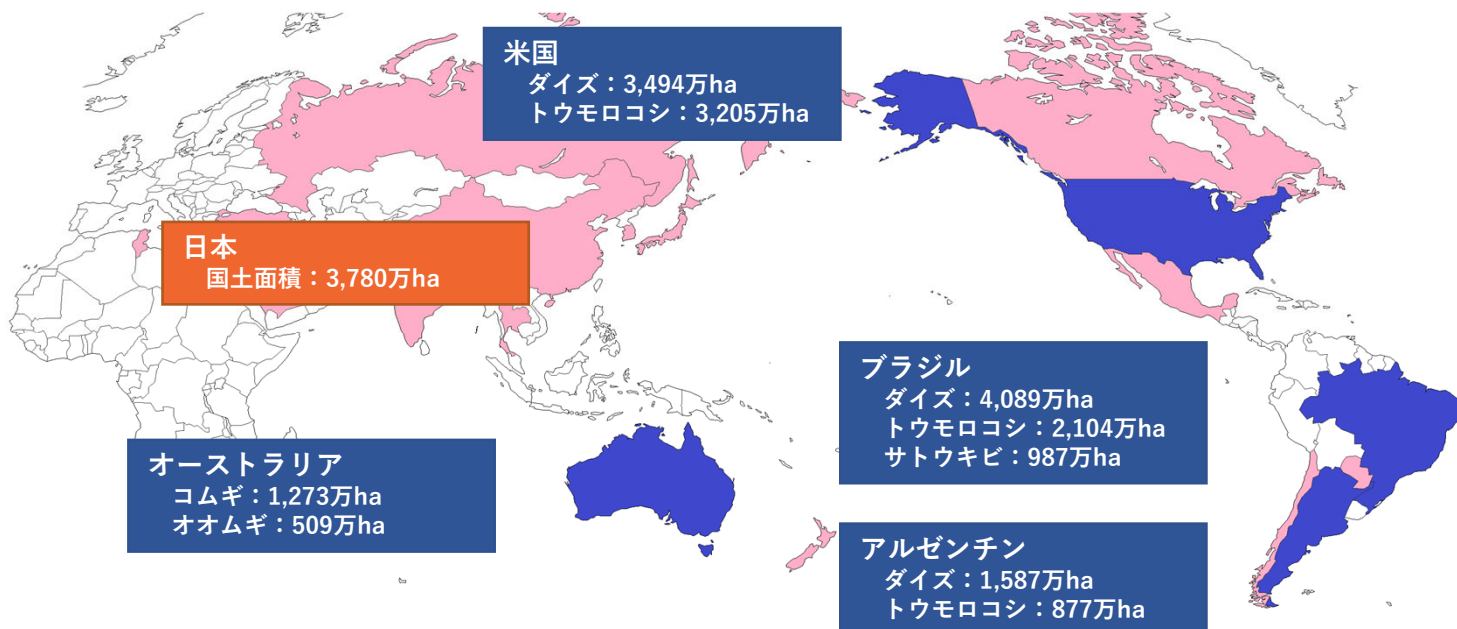
アクシーブのグローバル展開



23カ国で登録取得、継続して混合剤開発、適用拡大中

更に9カ国で開発中

アクシーブの成長

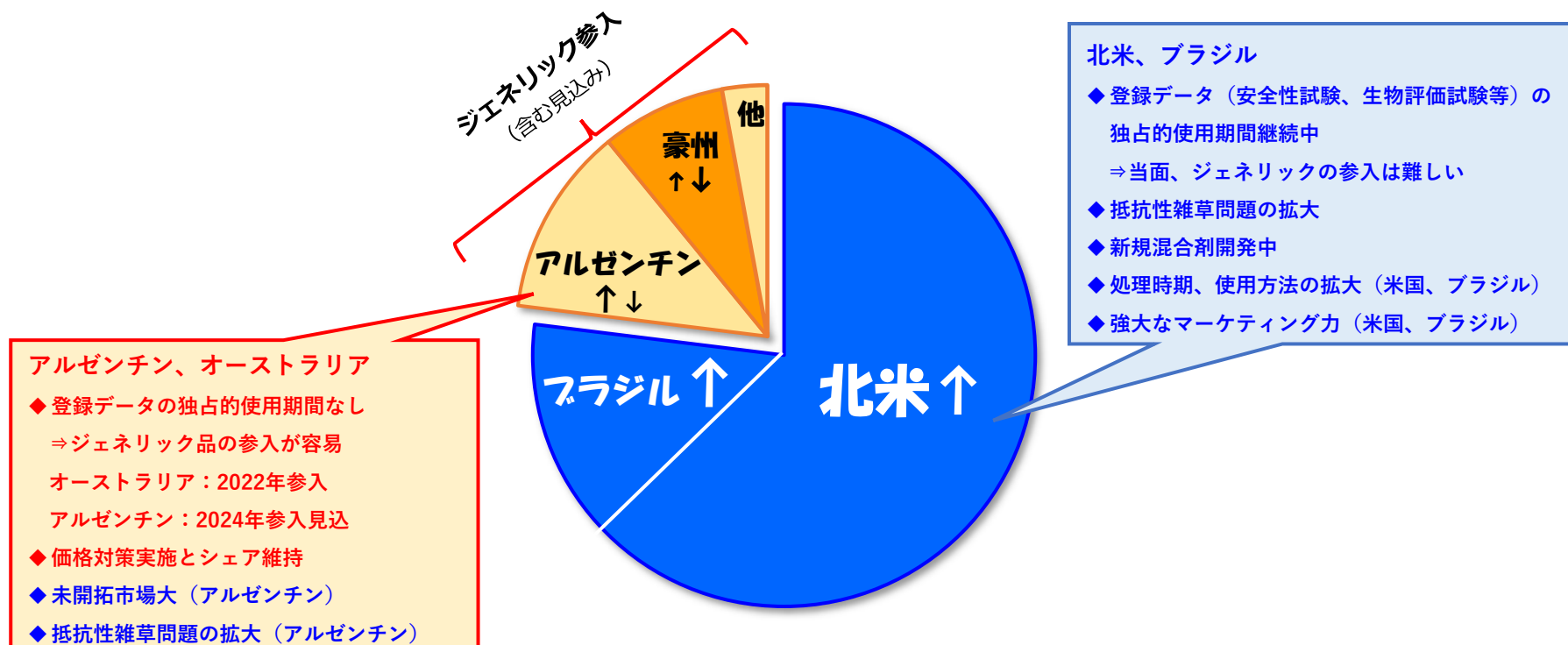


出典：FAO（2022年穀物作付面積）

世界の巨大な穀物市場でAXEEV販売拡大に向けた開発が進行中

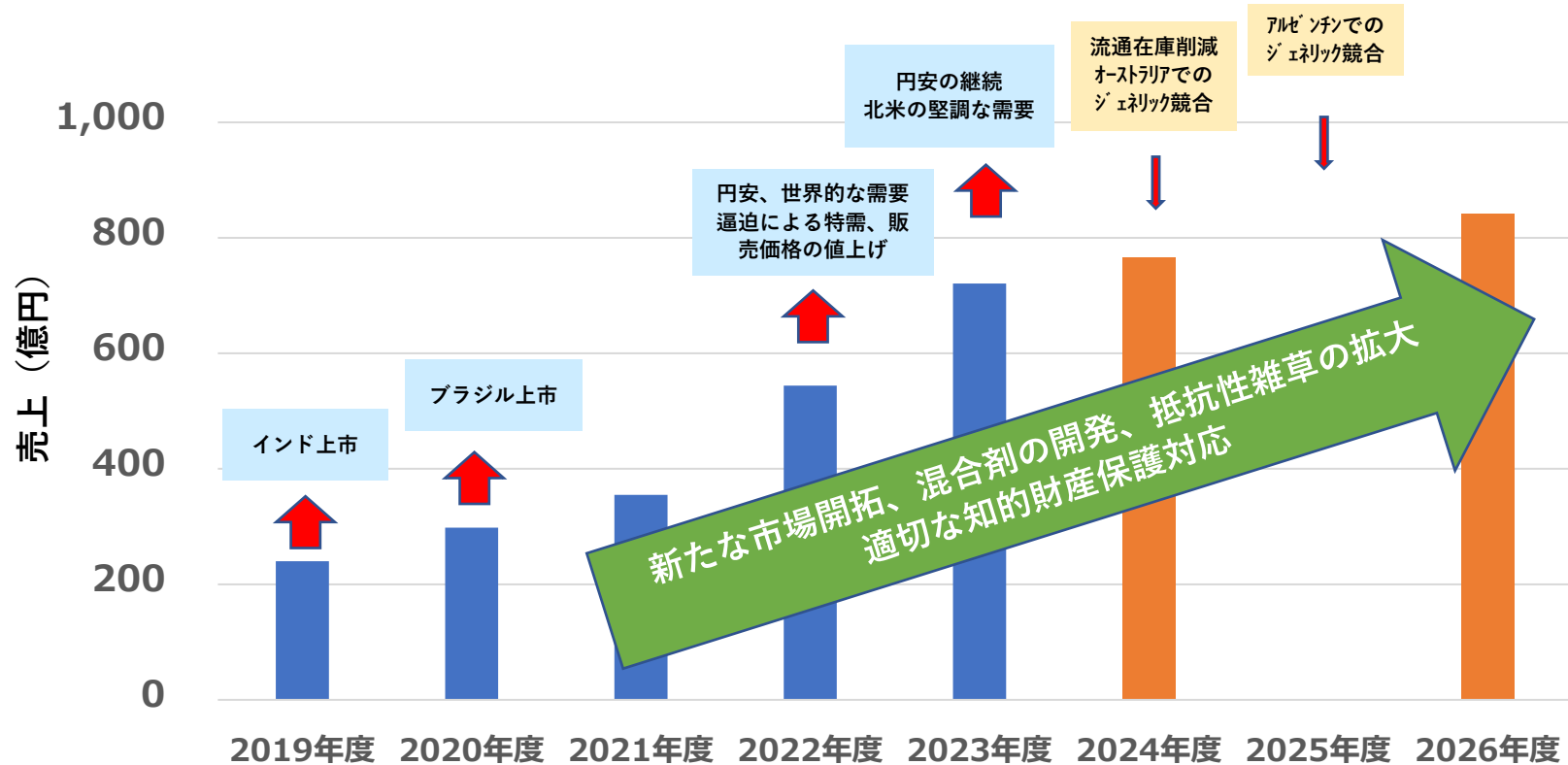
製造法、製造中間体、混合剤、登録データ等の知的財産は有効

アクシーブ販売の展望

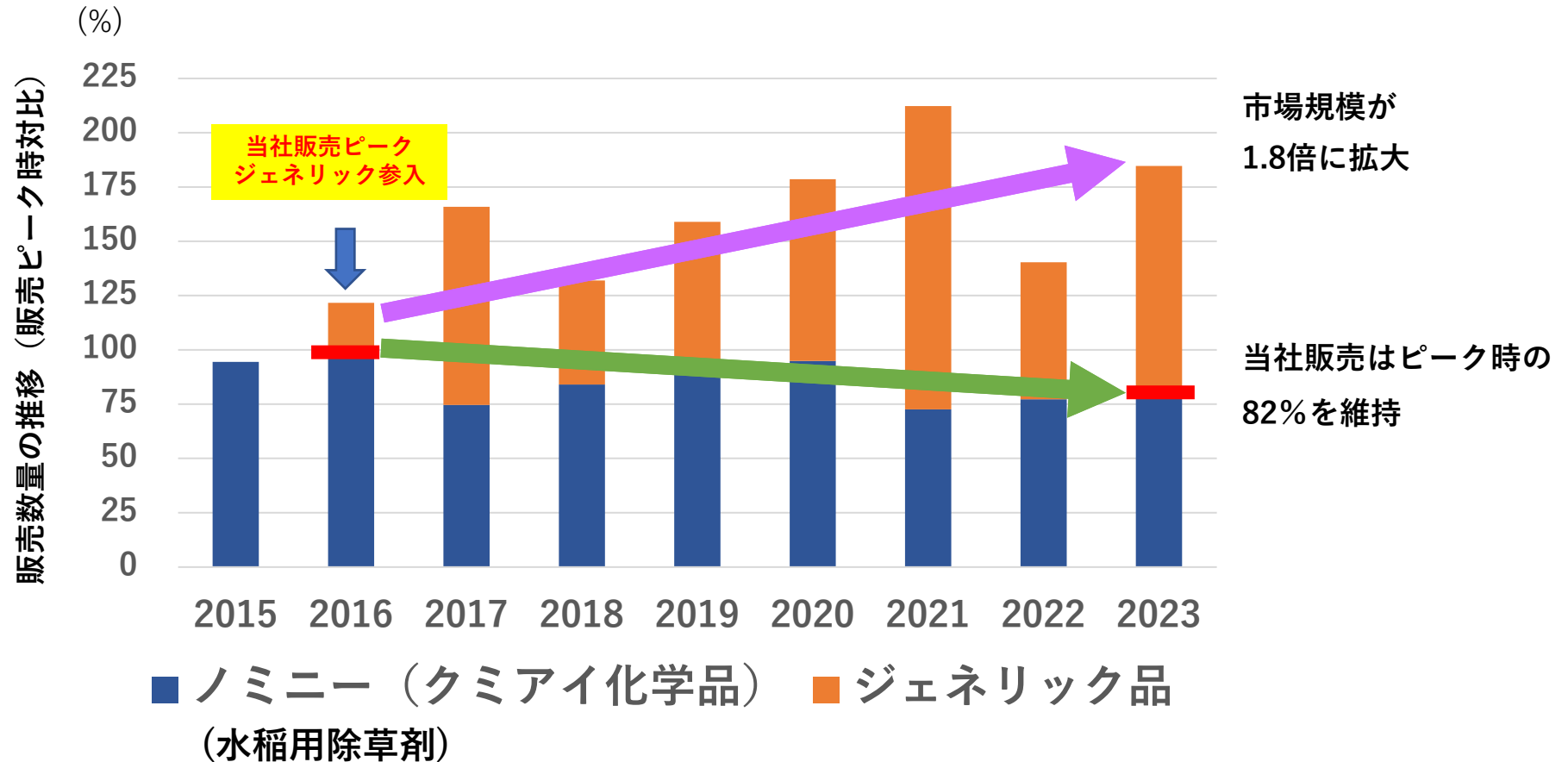


世界の巨大な穀物市場でAXEEVの販売が拡大
ジェネリック参入は当面限定的（全市場の1/4）⇒ 違法品、特許侵害品には断固とした対応

アクシーブ販売実績と計画

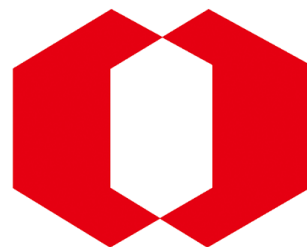


ジェネリック品参入後の自社製品販売推移 (インドでのノミニーのケース)



ご清聴ありがとうございました。

自然に学び 自然を守る



クミカ

本資料に記載されている業績予想および将来の予想などに関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき、弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんこと、ご承知おきください。

弊社および弊社関連会社以外に関する情報は、公知の情報に依拠しており、情報の正確性などについて保証するものではありません。

<お問い合わせ先>
クミアイ化学工業株式会社
経営管理本部 経営企画部 企画課

弊社IRサイトもご覧ください <https://ir.kumiai-chem.co.jp/>